

ニューサウスウェールズ州教育省 訪問

慶應義塾幼稚舎 教諭 関本 春菜

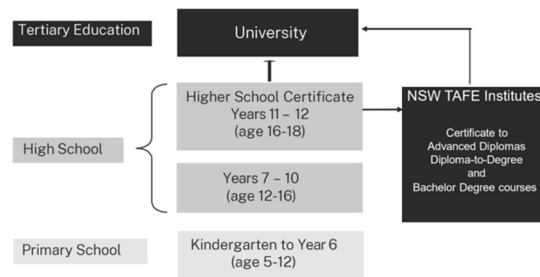
1 はじめに

私立学校教員海外研修団は、2024年9月9日、視察先である New South Wales Department of Education (以下、ニューサウスウェールズ州教育省) を訪問した。

訪問先では、ニューサウスウェールズ州の教育システムと、教育省が現在力を入れている取り組みについて話を聞いた。

2 ニューサウスウェールズ州の教育システム

ニューサウスウェールズ州には、オーストラリアの人口の32パーセント、800万人が在住している。ニューサウスウェールズ州教育省では、約2,200校全ての学校を統括し、運営している。本章では、ニューサウスウェールズ州の教育システムについて説明する。



ニューサウスウェールズ州の教育システム
(引用1)

ニューサウスウェールズ州の教育機

関は、Primary School、Secondary School、TAFE Institutes、University で構成されている。

Primary school とは、小学校入学前の5歳児が通う Kindergarten と、6歳から12歳 (Year1-Year6) が通う小学校を合わせた教育機関を指す。Kindergarten は日本の幼稚園と異なり、小学校に通う準備段階として小学校と同じ敷地内にある施設で1年間児童が教育を受ける。ニューサウスウェールズ州では5歳の Kindergarten から義務教育である。

Secondary school は12歳から18歳 (Year7-Year12) が通う中高一貫校である。ただし、中学校段階の Year10 までが義務教育であり、そのあとの Year11, Year12 は義務教育ではない。

高校を卒業すると、高等教育機関として University と職業専門学校 Technical and Further Education (以下、TAFE) が用意されている。日本と異なる点は、州立の TAFE が多く存在することである。TAFE では社会に出て即戦力として活躍できるように専門知識を学ぶことができる。高校卒業後 TAFE に進学する学生も多い。

また、教育システムについて話を聞くなかで、児童生徒の学力を確認する共通テストが多く実施されていることが分かった。具体的には、(1) National Assessment Program – Literacy and Numeracy Test、(2) Opportunity Class Test、(3) Higher School Certificate の3つである。

(1) National Assessment Program – Literacy and Numeracy Test

小学校では、読み書き計算の力を評価する National Assessment Program – Literacy and Numeracy Test (以下、NAPLAN Test) が実施される。このテストは Year3 と Year5、中学 1 年次にあたる Year7 と 3 年次にあたる Year10 の児童生徒を対象に、全国で実施される。児童生徒の学力を評価するとともに、学校評価の役割を持ち、州内や全国の他の学校と結果を比較できるようにしている。児童生徒、保護者はテストの結果で得意分野や苦手分野を把握し、教師はテストの結果を受けて教育活動の改善を試みる。この NAPLAN Test は、全国の教育格差を埋めることを目的として行われている。

(2) Opportunity Class Test

小学 4 年次には、Opportunity Class Test を受けることができる。このテストの結果によって、Year5 と Year6 に充実した特別教育を受けられる「選抜クラス」に入ることができる。全ての学校に選抜クラスが用意されているわけではないため、Opportunity Class Test に合格すると、5・6 年生になるときに選抜クラスがある学校に編入することも可能だ。

(3) Higher School Certificate

日本の高校 2 年次と 3 年次にあたる Year11 と Year12 に、ニューサウスウェールズ州では高校修了テスト Higher School Certificate を受けて、自分が得意な分野は何か、苦手な分野は何か、明らかにしている。この高校修了テストをもって、高校を卒業することができる。

以上 3 つのテストは、いずれも学術的内容が身につけているか評価するテストであり、児童生徒が得意分野や苦手分野を理解するために利用することや、学校や教師が、評価によって教育活動をより良くすることを目的として実施していることが分かった。

また、ニューサウスウェールズ州では、特別支援学校や、選抜クラスをもつ選抜学校、農業科や芸術等に特化した専門色の強い学校、遠隔地に居住しているために学校に通えない子供たちのためのリモート教育など、様々な学校種が用意されていることも分かった。

3 ニューサウスウェールズ州の取り組み

本章では、ニューサウスウェールズ州教育省が力を入れている、(1) Project Based Learning・STEM 教育への取り組みと、(2) 教育格差を埋めるための ICT 機器の利用について説明する。

(1) Project Based Learning・STEM 教育への取り組み

ニューサウスウェールズ州では、社会で役立つ実践的スキルを身につけられるように問題解決学習や STEM 教育に力を入れている。将来、AI 等のテクノロ

ジの発達によって多くの仕事が自動化することを踏まえ、たくさんの情報から正確な情報を見つけ、利用できるように情報を批判的に分析できる力や、様々な状況に柔軟に適応できる力が必要だと考えている。それらの力を身につけるため、教育省は問題解決学習や批判的思考を養う学習を推進している。その取り組みの一つが STEM 教育である。2016 年から 2026 年までの国家 STEM 教育戦略に基づき、児童生徒の STEM 能力の向上を目指している。ロボットを使用したプログラミング学習や 3D プリンタを利用した学習活動などが挙げられる。また、現在教育省が特に力を入れて取り組んでいることは、ニューサウスウェールズ州教育省が独自で開発したオリジナル AI の活用である。AI は児童生徒の学習や成長に良い影響を与えないことが懸念されるため、学校での使用を禁止してきた。しかし、今回開発に取り組んだ AI は、児童生徒に替わって答えを導くのではなく、児童生徒に学習のアドバイスを与えるサポート的役割を担うことや、教員の授業計画や教材開発に役立てられる。この AI は来年にも全ての学校で展開される予定である。

これらの問題解決学習や STEM 教育を実践するにあたり、教室で使用する机や椅子などの家具は移動可能なものを用意している。個別学習だけでなく、生徒同士の話し合い等、共同での学習を容易に行うためだ。

このように、ニューサウスウェールズ州教育省では、将来役立つ実践的スキルを養うため、カリキュラムや学習環境を整えていることが分かった。

(2) 教育格差を埋めるための ICT 機器の利用

ニューサウスウェールズ州の約 25 パーセントの児童生徒が、農村など遠隔地に居住する。このような遠隔地に居住する児童生徒が、都市部に居住する児童生徒と同様の質の高い教育を受けられるようにするため、ICT 機器を利用したオンライン授業を実施している。また、農村など遠隔地に在住する児童生徒が寄宿舎に住みこみ、学校で学習できるように補助金や奨学金の資金提供を行なっている。

さらに、遠隔地に住む学生だけでなく病気を患った児童生徒が、通常通り学習を続けたり、クラスメイトと交流し続けたりするために、ロボットや ICT 機器を利用することもある。具体的にはテレプレゼンスロボットを使用し、病室から学校にあるロボットを自由に動かし、授業に参加したり、友達との交流をしたりする。

このように、ニューサウスウェールズ州教育省では、遠隔地に居住する児童生徒や、病気等の理由により学校に通うことができなくなった児童生徒が、ICT 機器を利用することで教育にアクセスすることを可能にし、さらに質の高い教育が提供できるような仕組みづくりを行なっていた。

4 おわりに

本研修の視察で、教育省のスタッフから話を聞くことができたことは、とても有意義であった。なぜなら、国や州政府がどのような教育システムを構築しているのか、どのような教育方針を持っているのか理解を深めることができたからである。

また、今回の私立学校教員海外研修では、クイーンズランドとニューサウスウェールズの異なる2つの州教育省を訪問することができた。一番驚いたことは、2章「ニューサウスウェールズ州の教育システム」で記述した通り、クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州ともに **Primary school** や **Secondary School** において **NAPLAN Test** や **Higher School Certificate** などの学力テストが複数



話を聞く研修団

回実施されることだ。これは、知識的な理解を評価するだけでなく、思考力や判断力、表現力を評価することはできているのか疑問が残る。また、州の特性によって課題や、教育方針等の違いがあるか知りたかったが、そこまで理解することはできなかった。ただ、3章「ニューサウスウェールズ州における取り組み」に記述した通り、どちらの州でも都市部から離れた地域に住む児童生徒が都市部に居住する児童生徒と同様の教育を受けられないことを課題としていて、オンライン教育の環境を整備するなど、課題解決に取り組んでいることは分かった。

ニューサウスウェールズ州教育省での研修は、オーストラリアの教育について理解を深めることができた。私立学校教員海外研修団のために説明をしてくださった教育省の **Milton Wan** 氏並びに現地通訳、ガイドの方々に感謝申し上げます。



教育省オフィスで写真撮影

引用 1 :

New South Wales Department of Education 提供資料